

私たちの役割

「寄付車」を活用した新しい支え合いの仕組みを作り、
石巻から全国に広げる

2025 年までの目標

- 持続可能な『コミュニティ・カーシェアリング』のモデルが確立し、導入したい地域が気軽にチャレンジできる仕組みがある
- 東日本大震災規模の災害が起こった時でも、様々な連携を通じて、特に支えを必要とする人に車を提供できる仕組みがある
- 支えを必要とする人や組織に寄付車を貸し出す仕組みが全国各地に広がっている



石巻発、寄付車でつくるやさしい未来

日本カーシェアリング協会

Japan Car Sharing Association



MAIL: info@japan-csa.org
HP: https://japan-csa.org
共用FAX: 03-6682-4842

ホームページ



Facebook、X、
instagramでも
活動情報発信中です。

SNSまとめ



石巻本部

〒986-0813
宮城県石巻市駅前北通り1-5-23
TEL: 0225-22-1453
FAX: 0225-24-8601

九州支部

〒843-0233
佐賀県武雄市東川登町大字永野6766-1
小山路案内
TEL: 070-1143-7799

栃木支部

〒328-0125
栃木県栃木市吹上町1300-3 2F

静岡支部

〒421-3305
静岡県富士市岩淵751-1

OPEN JAPAN
オープンジャパン

日本カーシェアリング協会は OPEN JAPAN ネットワークのメンバーです。

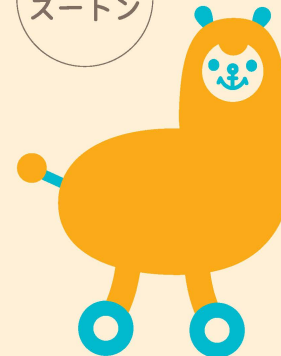
※石巻カーシェア道中記Vol.3-3は一般財団法人トヨタ・モビリティ基金の助成を受けて制作しました。

発行: 2024年3月 (2020年8月発行の石巻カーシェア道中記vol.3の一部情報を更新しました)

石巻 カーシェア 道中記 Vol.3-3

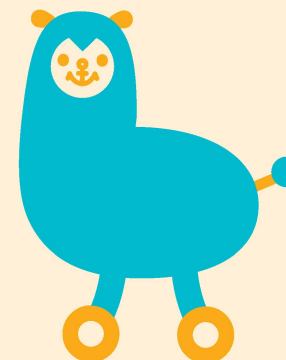
活動紹介パンフレット

シェアバカー1号
スートン



※「スートン (石)」と「ローリー (巻)」を
合わせて「石巻」なんです。

東日本大震災後に活動を始めてから今まで
凸凹な山道を、一步步よろめきながら
なんとか前に進んできました。
私達がよろめき倒れそうになった時、
いつも支えてくださる方々がいてくれたお
かげです。日頃の感謝の気持ちを込め
て、私達が積み重ねてきた今の取り組み
と、少しずつ見えてきたその先の風景を
ご紹介します。



シェアバカー2号
ローリー



石巻発、寄付車でつくるやさしい未来

日本カーシェアリング協会
Japan Car Sharing Association

東日本大震災で6万台の車が被災した石巻に
寄付いただいた車を、1台届けることから
この活動は始まりました。



※2011年7月24日 仮設万石浦団地にてテスト運行を開始した時の様子

当時は、車を寄付するという習慣や、車を社会貢献のために活用するという文化がほとんどなく、しかも何の実績も経験もない私は、車を集めを始めてから最初の1台を届けるまでに3カ月もかかりました。

あれから13年。

様々な方々に支えられ、石巻で培ってきたことで、他の地域にも貢献できるようになりました。

これまでご支援いただいた皆さまに感謝すると同時に、その受け取ったお気持ちを何倍にもして、具体的に社会へ還元できるよう、これからも取り組んでまいります。

2024年3月
一般社団法人日本カーシェアリング協会
代表理事 吉澤 武彦



2011年4月

故・山田和尚氏(元・神戸元氣村代表)から提案を受け車集め開始



2011年10月

公的機関から許可を受け本格始動



2012年2月

カーシェアリング・コミュニティ・サポートセンターを石巻市から受託



2014年3月

石巻以外の地域での災害支援活動を開始



2015年6月

復興住宅への導入を機に平時の支え合いサポートを開始

私たちの VISION

助け合いにあふれ、
安心して暮らし続けられる社会を目指す

私たちの MISSION

「寄付車」を活用した新しい支え合いの
仕組みをつくり、石巻から全国に広げる

日本カーシェアリング協会は、寄付で集めた車を使った
「支え合いの仕組み」を作る非営利組織です。

次の3つの活動
を通してその仕
組み作りを進め
ています。



車をシェアして支え合う
仕組みを地域につくる

コミュニティ・カーシェアリング



寄付車を貸し出すことで
人と地域を元気にする

ソーシャル・カーサポート



災害時に車で困らない
仕組みをつくる

モビリティ・レジリエンス

石巻で生まれた活動が少しずつ広がり、現在4つの拠点で活動しています。今後も拠点は増える予定。石巻本部の事務所は、福島県で使われていた木造の仮設住宅を移築し再活用しています。

● スタッフ：23名
● 活用車両台数 約550台
※2024年3月現在



石巻本部



九州支部



静岡支部



栃木支部

Contents

この冊子では、前半で上記3つの活動をご紹介します、後半でこれらの活動を推進していく上で募集していること、受賞歴やメディア掲載履歴、支えてくださっている方々をご紹介します。

P 4 - 9	コミュニティ・カーシェアリング
P 10 - 13	モビリティ・レジリエンス
P 14 - 15	ソーシャル・カーサポート
P 16 - 17	募集
P 18	受賞歴・メディア掲載
P 19	スペシャルサンクス



車をシェアして支え合う仕組みを地域につくる コミュニティ・カーシェアリング

「コミュニティカーシェアリング」は、地域コミュニティで車をシェア（共同利用）し、地域を元気にするサークル活動です。東日本大震災の後、石巻市の仮設住宅で始まったこの活動は、今、移動に課題のある様々な地域に導入されるようになり、全国に広がっています。



その1 目的は支え合う地域づくり ～楽しいサークル活動として車を柔軟に活用～

一般的なカーシェアリングと最も違う点は、その目的が地域づくりにある点です。目的に賛同し、入会したご近所さん同士で車を柔軟に活用します。お出かけの企画など楽しいこともどんどん実践していきます。



その2 その3 経費実費を使った割合に 応じて分担する仕組み ～預けたお金を定期的に精算しながら運営～

お金を預けるルールをつくり、集めたお金で運営し、利用頻度に応じた経費実費の分担となるように、定期的に精算しています。



地域の人たちで運営する ～ルールと役割はおちゃっこで決める～

定期的におちゃっこ※1 を開催し、利用のためのルールを調整します。また、運営のために必要な役割を分担し、自分たちで運営していただきます。

※1 東北の方言で「お茶しながらのおしゃべり」という意味。サロン活動のようなもの。



ポイントは活動の組み合わせ

よく地域で行われている「サロン活動」、「ツアー活動」、「外出支援活動」。この3つの活動を組み合わせた仕組みが「コミュニティ・カーシェアリング」です。活動を組み合わせることによって様々な地域の人と一緒に交わり、楽しい企画が生まれ、活発で持続可能な体制が生まれます。



継続的な支え合い活動

コミュニティ・カーシェアリングの得意なこと、苦手なこと

得意なこと 気軽に始められる

車も借りることができ、ルールの雛形もあるので、テスト運行から始めることができます。許可申請が不要なため関連機関との会議や手続きが不要。

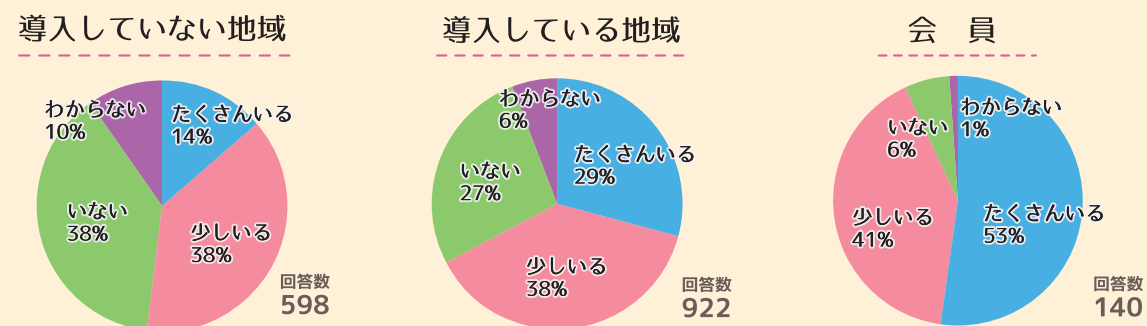
苦手なこと 安定した交通サービスではない

地域のボランティアで運営しているサークルのため、協力者の都合を第一優先している。交通機関の補足としては役割を担えるが、安定したサービスの提供はできない。目的はあくまでも地域づくり。

コミュニティ・カーシェアリングの効果

コミュニティ 導入によって個人・地域共に人間関係構築に大きな影響を与えている

Q. 仲のいいお知り合いはいますか？

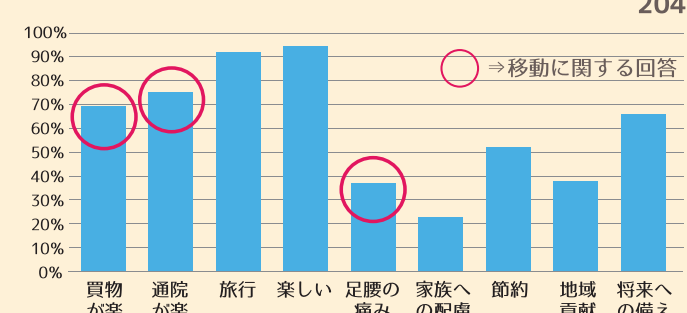


■石巻の復興公営住宅及びその周辺地域に行ったアンケート結果です。◆実施時期 2017年2月～2019年3月 ◆実施地域数 12地域

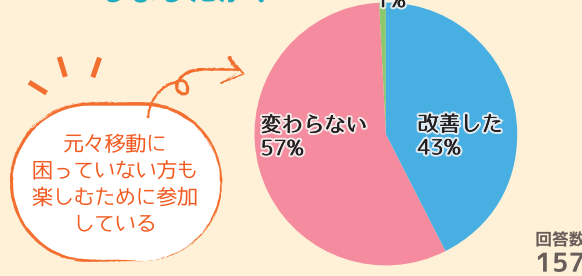
移動

活動を楽しみながら移動も改善している

Q. 参加している理由は何ですか？（複数回答可）



Q. 移動は改善しましたか？



■石巻で運営されている10地域のカーシェア会の会員に行ったアンケート結果です。◆実施時期 2019年10月～12月

日本カーシェアリング協会の役割

日本カーシェアリング協会では『コミュニティ・カーシェアリング導入サポートプログラム』を提供し、下記のサポートを行っております。

導入サポート



地域への説明会や雛形のルールを使ったテスト運行を行い、会の設立までのサポートを行います。

運営サポート



ルールや役割分担の調整や運営に関する様々なサポートを通して活動を軌道に乗せます。

連携構築サポート



行政・企業・NPOなどと連携し、持続可能な体制づくりや、より効果的な活動にするためのサポートを行います。

『コミュニティ・カーシェアリング』を実践しているグループ紹介

石巻市内 11 地域 約 600 名
平均年齢 78 歳 ※2024 年 3 月時点

1 年間の活動量
(2022 年 4 月～2023 年 3 月)

お出かけ回数: 54 回実施 (2, 3 カ月に 1 回)
おちゃっこ会: 106 回実施 (1 カ月に 1 回)
外出支援: 5,521 回実施 (1 カ月に 46 回)



石巻以外の地域で設立された『コミュニティ・カーシェアリング』

石巻以外では14 地域
約600 名の方が実践中！
※2024 年 3 月時点



利用者の声



仕事が忙しくて地域のことを手伝ってこなかったのですが、仕事を引退した今、私にとっては地域に参加する良い機会になっています。

菅野さん
渡波カーシェア会 ボランティアドライバー



ちょっといいことしてえなあと思ってな。

青山さん
あゆみ野カーシェア会 元ボランティアドライバー



みんなで行く買物は、ピクニックに行くみたいに楽しいです。

高橋さん
不動町カーシェア会 お出かけ担当



お出かけが本当に楽しみ。みんなともっとお話ししたいから補聴器をつけることにしました。

渡邊さん
三ツ股カーシェア会 みんなの人気者(最高齢 97 歳)



石巻の産官学民連携モデル

～地域連携し、持続可能な支え合いをつくる～



企業が支える 「CSSスポンサー制度」

活動経費の一部をスポンサー企業がサポートする制度です。企業側は地域へ直接的な支援を行うことができ、また地域とのかわりを深めることもできます。



▲車には応援企業のステッカーを貼っています

産

官

行政が支える 「地域力強化推進事業」

石巻市では導入を希望する地域には協会スタッフを専門家として派遣し、導入後は経費の一部を一定期間助成しています。定期的に政策連携の検討会議も関係課が集まり行っています。



▲検討会議での様子

教育機関が支える 「学生整備プロジェクト」

毎年春と秋にタイヤやオイルなどの用品交換を授業の一環として実施していただいています。

石巻専修大学でのプロジェクトの様子▶



学

民

地域が支える 「地域サポーター制度」

会の運営に積極的な会員に対し、ちらしづくり、ファシリテーション研修などを行い、運営スキルを獲得していただきます。



パソコン講座の様子▶

よくある質問

Q. 事故のについてはどう対応していますか？

- ・ 保険の範囲内での補償。
- ・ 運転者を責めない。
- ・ 賠償を求めない。

上記に関して会則でルール化し、同意者（家族同意も必要）のみ参加いただきます。

Q. 白タク行為ではないですか？

- ・ ドライバーがボランティア。（無報酬）
- ・ 予め料金が設定されていない。（精算時に分担額が決まる）
- ・ 運送行為ではなく運転代行。

上記の 3 つのポイントで適法性を確保しています。

Q. 交通事業者と競合しませんか？

- ・ あくまでボランティア活動のため安定した交通サービスを提供できない。
- ・ 交通事業者の利用について配慮したルールづくりを行う。

上記のようにあくまで交通の補足的な立場で、外出頻度を増やし既存の交通サービスを利用する機運を作ることを目指す活動です。

データで読み解くコミュニティ・カーシェアリング

コミュニティ・カーシェアリングが、会員の心身の健康などにどのような影響を及ぼしているか、またそのコミュニティはどんな特徴があるのかを把握するため、会員に対するアンケート調査をトヨタ・モビリティ基金の助成を受け実施しました。客観的・科学的な調査とするため、調査設計・分析は、第三者機関において実施しました。

協力：株式会社日本総合研究所、東北大学大学院歯学研究科、上智大学コミュニティ・キャピタル研究会、NPO法人CRファクトリー

実施時期：2019年10月～12月

対象：石巻市で運営されている10地域のカーシェア会の会員（205名から回答を獲得）

参加者に表れたプラスの効果

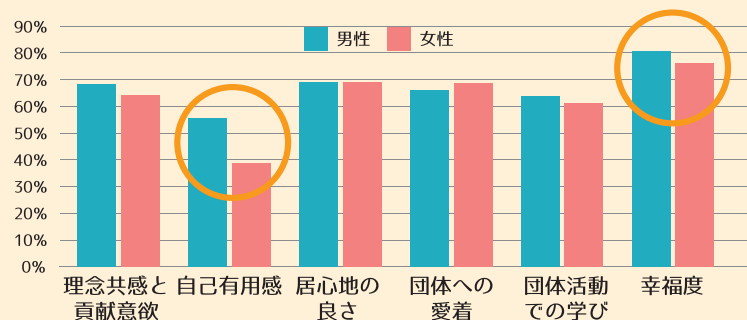
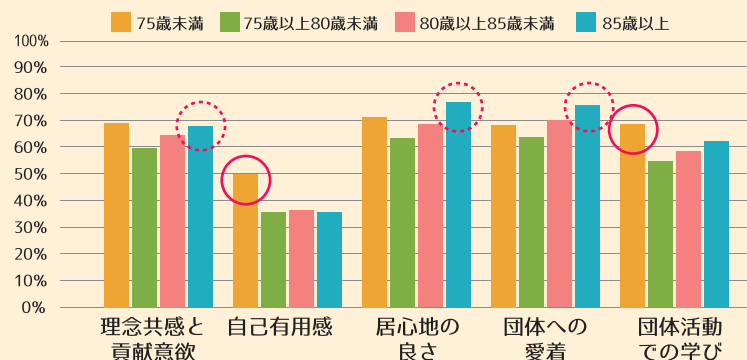
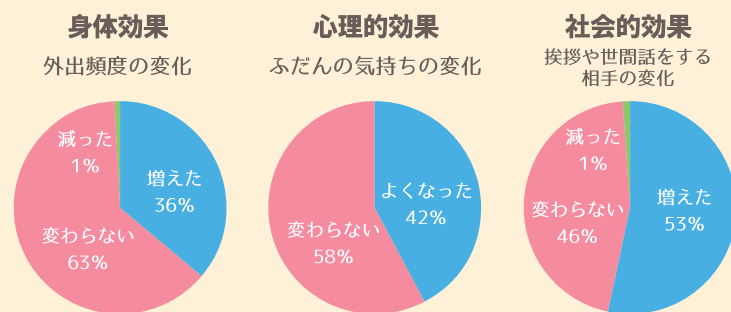
- 身体的な面（外出頻度向上）
- 心理的な面（心の安定）
- 社会的な面（話し相手の増加）

閉じこもり防止につながり、要介護・要支援、軽度認知機能低下、うつ傾向・うつ状態の方にもプラスの効果が確認されている。これらのことから、介護予防にもつながる意義を持つと考えられる。

75歳未満の比較的若い層では、自己有用感や学び（世話役として活動する意義）を強く感じている（○）

85歳以上の高齢層では、居心地の良さや団体への愛着（カーシェア会の居場所としての価値）を強く感じている（○）

社会参加の機会が少なく幸福度が低いとされる男性高齢者に、自己有用感、生きがい、幸福感を提供できているものと考えられる（○）



Pick up

『コミュニティ・カーシェアリング』と免許返納

コミュニティ・カーシェアリングを実践する会員で免許を返納したり、マイカーを手放す人が一定数存在する。そういった方々へインタビューすると、この活動があることによる安心感が免許返納に寄与していることが確認できた。

当協会ブログ（右のQRコード）でインタビューを紹介しています。



▲ 80歳で免許を返納した岩井さん



市長 半島沿岸部など免許返納後の生活の足は確保は大きなテーマ。注目するのはカーシェアリングを活用した「コミュニティカーシェアリング」。

石巻市の亀山市長が「免許返納問題の解決に注目している」と、答えている記事。

『コミュニティ・カーシェアリング』導入について

➡ 関心のある方は、裏表紙の連絡先にお問い合わせください

❁ コミュニティ・カーシェアリングについてまずは詳しく知りたい方へ

1 講演

当協会スタッフが現地に伺い、コミュニティ・カーシェアリングの取り組みについてご説明し、導入に向けてのアドバイスを実施。



2 視察

コミュニティ・カーシェアリングの現場視察を行った上で①と同内容の説明とアドバイスを実施。

❁ コミュニティ・カーシェアリングの立ち上げのサポートをご希望の方へ

3 CCS 立ち上げサポート

石巻で活用している各種運営ツールを使い、活動の立ち上げに向けた事前調整・テスト運行など、現地への訪問及びオンラインでの伴走支援を実施。



導入に向けての打合せ



運輸支局への説明に同行



地域での説明会の実施

❁ コミュニティ・カーシェアリング導入後のサポートをご希望の方へ

（公認「コミュニティ・カーシェアリング」会員サポートプラン）

導入サポート後、継続して活動について情報共有いただける団体には、適切にコミュニティ・カーシェアリングの運営を実践している公認会員として登録いただき、会員同士の交流や継続したサポートを行っています。

4 会員サポート

各種運営ツールの提供・会員同士の交流機会の提供など。

5 オンラインサポート

月1回の電話もしくはオンラインでのサポート対応（1時間程度）を提供。

6 訪問サポート

月1回訪問でのサポートを提供。

国のアドバイザー制度を活用できます

代表理事の吉澤が「内閣府 地域活性化伝道師」「総務省 地域力創造アドバイザー」に登録していただいています。そのため、導入を希望する自治体が制度を利用すると経費を特別交付税措置として扱えたり、条件によっては、国が負担していただけることになります。詳しくは、QRコードから各ホームページをご覧ください。



内閣府
地域活性化伝道師



総務省
地域力創造アドバイザー

コミュニティ・カーシェアリング事業の2025年までの目標

持続可能な『コミュニティ・カーシェアリング』のモデルが確立し、導入したい地域が気軽にチャレンジできる仕組みがある

災害時に車で困らない仕組みをつくる

モビリティ・レジリエンス

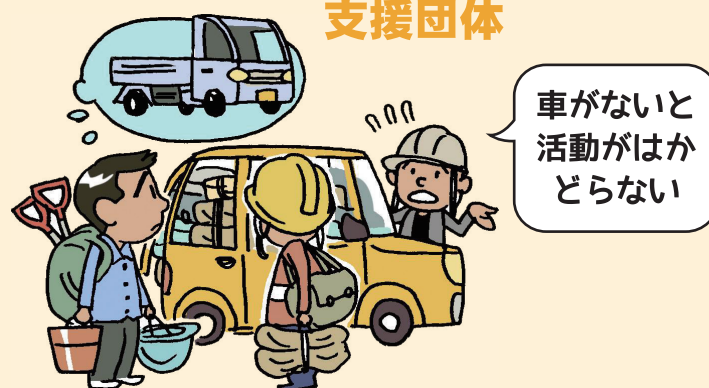
自然災害がある度に被災地は、車が被災して車不足で困る状況に陥ります。このモビリティ・レジリエンス事業は、寄付で集めた車を活用し、災害時に車で困らない仕組みを作る取り組みです。



災害時に被災地は車で困ります

被災個人・団体

支援団体



私たちは寄付で集めた車を、被災者及び支援団体へ一定期間、無料での貸出しを行っています。

STEP1 車を募る

多くの車が必要な場合、車の寄付の呼びかけを行います。SNSやメールニュースでの発信はもちろん、車関連の企業や業界団体、報道機関への働きかけ等も行います。

STEP2 車を運ぶ

石巻で活用している車や、寄付いただいた車を運搬ボランティアや積載車による陸送などの支援を募集して車を被災地に運びます。

STEP3 車を貸し出す

現地に貸出し拠点を設置し、集めた車を貸し出します。車は名義変更を行い、自動車保険に加入した上で貸出します。



これまで対応した災害 ※貸出し延べ件数

2014年	3月	平成26年豪雪(埼玉県秩父市)・・・	1件
2015年	9月	関東・東北豪雨(宮城県古川市・茨城県常総市)・・・	25件
2016年	4月	熊本地震(熊本県熊本市・益城町・西原村・南阿蘇村など)・・・	71件
2016年	9月	台風10号(岩手県岩泉町)・・・	23件
2017年	7月	九州北部豪雨(福岡県朝倉市・大分県日田市)・・・	38件
2018年	7月	平成30年7月豪雨(岡山県倉敷市・愛媛県西予市など)・・・	629件
2019年	8月	令和元年8月豪雨(佐賀県武雄市・大町町など)・・・	105件
2019年	9月	台風15号(千葉県内)・・・	5件
2019年	10月	台風19号(宮城県丸森町・栃木県栃木市・福島県いわき市など)・・・	175件
2020年	7月	令和2年7月豪雨(熊本県人吉市・球磨村・八千代市・大分県日田市・福岡県太宰市)・・・	445件
2021年	2月	福島県沖地震(宮城県山元町)・・・	14件
2021年	7月	令和3年7月豪雨(静岡県熱海市・沼津市)・・・	97件
2021年	8月	令和3年8月豪雨(佐賀県武雄市・大町町・福岡県久留米市)・・・	103件
2022年	4月	令和4年福島沖地震(福島県相馬市)・・・	107件
2022年	7月	令和4年7月豪雨(宮城県大崎市)・・・	142件
2022年	8月	令和4年8月豪雨(新潟県上越市・関川村・山形県川西町・秋田県五城目町・青森県八戸市)・・・	157件
2022年	9月	令和4年台風15号(静岡県静岡市)・・・	306件
2023年	5月	令和5年能登半島沖地震(石川県珠洲市)・・・	2件
2023年	6月	令和5年台風2号(愛知県豊橋市・静岡県富士市・茨城県取手市)・・・	148件
2023年	7月	令和5年九州北部豪雨(福岡県久留米市・佐賀県武雄市)・・・	164件
2023年	7月	令和5年秋田豪雨(秋田県秋田市・五城目町)・・・	248件
2023年	9月	令和5年台風13号(福島県いわき市・千葉県茂原市)・・・	82件
2024年	1月	令和6年能登半島地震(石川県七尾市・能登町・輪島市・珠洲市・能美市)・・・	対応中



2015年常総市にて



2019年丸森町にて



手続きの様子

活動を支えるみなさん

運搬で支援

全国から寄付の申し出を受けた車は、架け橋ドライバーさん(運搬ボランティア)が運転して現地に運んでいただいています。



整備・登録

地元の車屋さんや行政書士さんに車の整備や名義変更など、フルボノでご協力いただくことで大変助かってます。



車で支援

車両提供のご協力いただきました。

日本中古自動車販売協会連合会
日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会
日本自動車リース協会連合会・日本自動車工業会



用品で支援

タイヤ・オイルなど車の用品をメーカー様に商品協賛いただいています。
住友ゴム工業・ハンコックタイヤジャパン
日本グッドイヤー・日本ミシュランタイヤ
横浜ゴム・ルート産業



状況に応じた柔軟な支援

車両提供・車両運搬・メンテナンス・資金協力・商品提供など、その時最も必要な支援を柔軟にご協力いただいています。
エーモン工業・オートバックスセブン



※五十音順 ※法人の種類略



Pick up

OPEN JAPAN や支援ネットワークとの連携

全国にボランティアネットワークを持ち、災害支援コーディネートを得意とする一般社団法人 OPEN JAPAN(当協会代表理事の吉澤が代表を兼任)と常に連携しながら活動を行っています。他にも様々な団体との連携や、ジャパン・フラットフォーム、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)への加盟を通して、効果的で持続可能な支援体制づくりを目指し活動を行っています。





平成30年7月豪雨では倉敷市の真備支所が被災したため、真備総合公園内にある真備体育館に支所機能が移りました。真備体育館は罹災証明の発行や物資の提供、自衛隊のお風呂などで被災者がたくさん訪れる場所となりました。そんな中、私たちは体育館内の一部屋をお借りし、敷地内に駐車場も確保いただき、被災者への車の貸出しを行いました。被災された方々の多く集まる場所に拠点を置かせていただいた結果、車が必要な方にこの支援の存在ををスムーズに伝えることができました。

地域連携で支援規模拡大を実現

平成30年7月豪雨では、行政・自動車販売業界と連携することで、これまでの支援規模が約10倍に拡大しました。のちに防災協定を締結し、今後の災害時においても地域連携することを互いに約束しました。



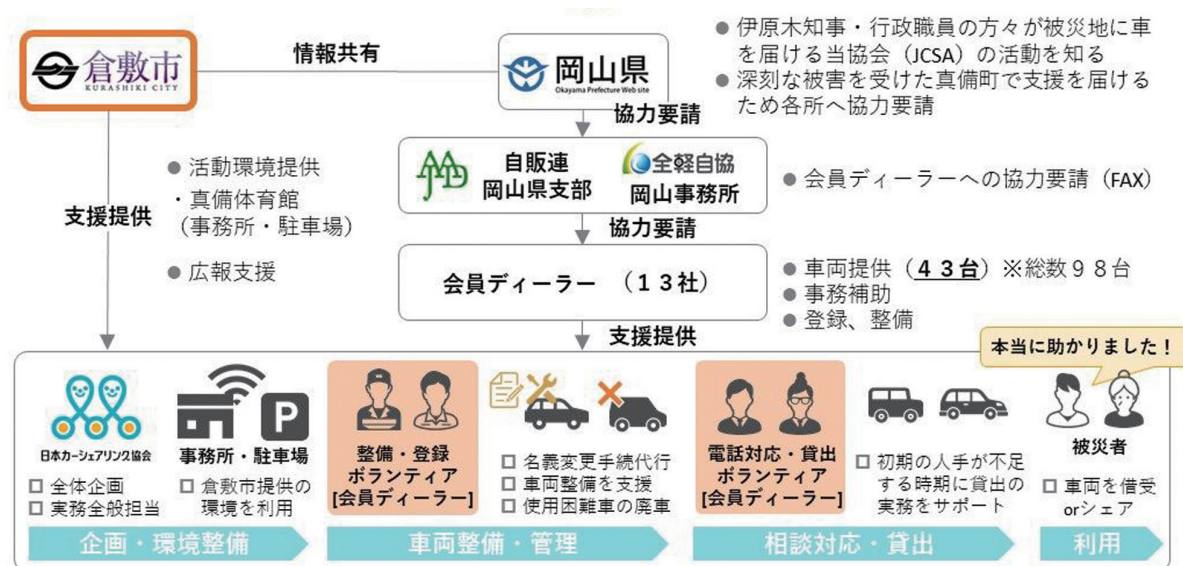
協定締結の時の様子



▲ 岡山県の伊原木隆太知事からの動画メッセージをご覧ください。



平成30年7月豪雨における岡山県での連携事例

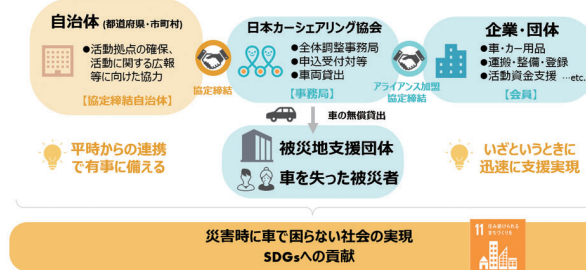


Pick up

いざという時に備える「モビリティ・レジリエンス・アライアンス」

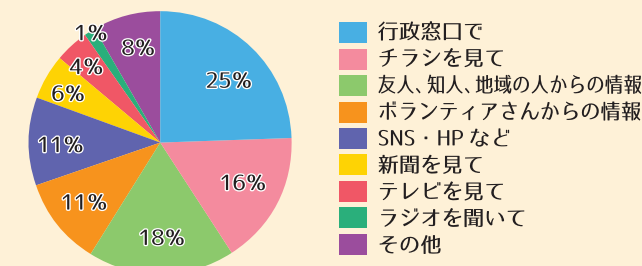
大規模災害で車を失い、移動に困難を抱える被災者の支援に向けて、平時から自治体・企業・団体の皆様と連携していざというときに迅速な支援を実現すべく、2021年7月28日に発足し当協会が事務局を担っております。

モビリティ・レジリエンス・アライアンスの概要



データでみる『モビリティ・レジリエンス』（令和元年台風19号）

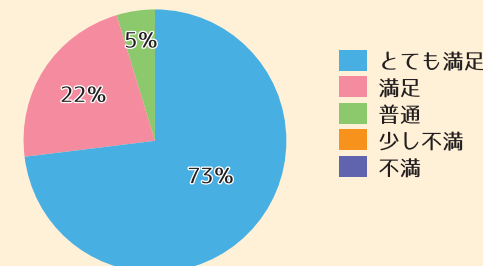
Q. どこでこの支援を知りましたか？



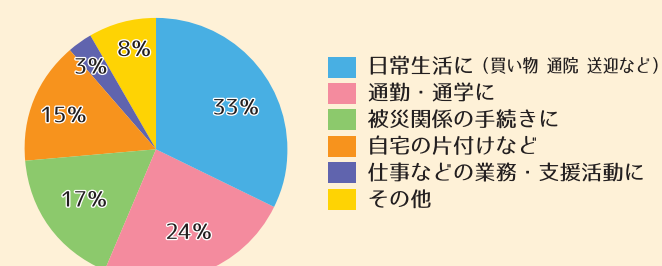
POINT

被災エリアへの情報周知は、主に役所庁内や避難所へのちらしの掲示、自治体の広報物へのちらしの挟み込み・被災エリアへの配布などで周知される。

Q. 本支援の満足度について教えてください。



Q. どのような用途に主に使用しましたか？



利用者の方からのメッセージ

11月9日から車を借りました。自宅は床上浸水1.4mで、車2台も全滅してしまい、余方にくれていました。11月の角田市広報でカーシェアリングさんの事を初めて知り、すぐ申し込みさせて頂きました。後片付けなど、生活に必要な物や病院と車を提供し、頂き、本当に助かりました。家族一同御礼申し上げます。次の方にも車シェアリング大いに活用して頂きたいです。感謝 感謝!!

私の所は事業所を利用していらっしゃる障害者の方の送り迎えにたり野菜の配達、お荷物の運搬に大変お世話になっておりました。その車が台風でなくなり、大変困りました。その時、知っていたカーシェアリングさんから車を借りる事ができ、大変助かりました。感謝申し上げます。

この度は、お車をお借り出来て、本当に感謝しております。引越をする際にも、何度もお借り出来たので、無事に引越しも終える事が出来ました。今回の台風の影響を受け、途方に暮れていた所に、車をお借り出来る事を知り、本当に感謝 感謝でした。本当に、本当に、ありがとうございました。

モビリティ・レジリエンス事業の2025年までの目標

東日本大震災規模の災害が起こった時でも、様々な連携を通じて、特に支えを必要とする人に車を提供できる仕組みがある。

寄付車を貸し出すことで人と地域を元気にする ソーシャル・カーサポート

車を貸すことによって、車がないことで困っている人や団体、地域を助けたり、元気にするレンタカーとカーリースです。一部の取組は私たちの組織の大切な活動財源にもなっています。



生活再建を応援 「生活お助けカーリース」

車の維持・購入が困難な方、災害で車を失った方を対象とした格安リースを実施し、生活再建を応援します。更に困窮度の高い方に対しては、自立支援組織との連携を条件に、より低価格の「生活お助けカーリース」も実施しています。



寄付車レンタカー

～寄付車を使った、お財布にも社会にもやさしいレンタカー～

特徴1. 震災伝承割引

石巻市や宮城県内をはじめとする沿岸部の地域には、東日本大震災での経験を伝えていく役割があります。私たちもこの地で活動する一員として、震災遺構や伝承施設へ足を運んでほしいと願い、震災伝承割引を行っています。そうした場所は公共交通機関では行きづらい場合が多く、それを補う役割を少しでも担いたいと思っています。



震災伝承のための語り部活動の様子

特徴2. 当協会の活動を側面支援

災害支援やコミュニティ支援等の私たちの非営利事業を財政的に支える取り組みでもあります。

予約はここから！▶

システム協力：株式会社ガーデュー



地域連携カーシェアリング

～地域の方々と車の貸出しを行う取組～

一般的なレンタカー会社では採算がとれず出店できないような地域で、地元の NPO や地域団体等と連携して、車を貸出せる仕組みをつくる取組です。人口 400 人程の石巻市網地島では島内の NPO と連携し、レンタカー型カーシェアリングを行っています。この島を訪れる観光客や釣り人、福祉関係の方々が利用しています。



網地島に設置されている車



POINT

保険のプロが常駐！

当協会には損害保険のプロが常駐しており、以下の損害保険会社と代理店契約を締結しています。損害保険のことでご相談がある場合はお気軽にお問い合わせください。

委託保険会社

- ・東京海上日動火災保険
- ・三井住友海上火災保険
- ・イーデザイン損害保険
- ・東北自動車共済

寄付車のカーリースで、車が必要なお困り事を解決！

～寄付車を活用して、地域の困っている人を助け、地域に貢献する人を応援～

非営利団体の活動を応援 「NPO カーリース」

非営利活動を行う法人、団体で働くスタッフを対象に、NPO の事情を加味した使いやすい短期のカーリースのプランです。寄付車の貸出を通じて地域をより良くする活動を応援していきます。



非営利活動

新しい地域での生活を応援 「移住カーリース」

新天地での生活に車が必要という方、地域おこし協力隊や、協力隊の受入団体に向けたカーリースのプランです。協力隊 OB が考案しており、各地で利用が広がっています。

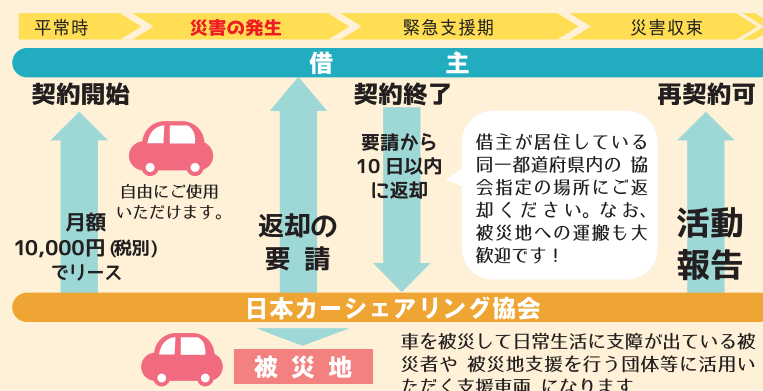


移住

協会の災害支援をあなたが応援 「災害時返却カーリース」

災害時において車が必要となるのは発災直後のタイミングです。その要望に対していち早く支援を届けたいと思っています。ですが、車を全国各地に配備しておくには駐車場の確保、車両のメンテナンスなどの維持の面においてもコストがかかります。そこで普段は格安で必要とする方に利用してもらい、災害が起きた後、協会からの要請があったら 10 日以内に返却してもらう仕組みのカーリースプランです。

災害時返却カーリースの被災地支援イメージ



ソーシャル・カーサポート事業の2025年までの目標

支えを必要とする人や組織に寄付車を貸し出す仕組みが
全国各地に広がっている

募集

関わる人が無理なく継続して協力できる仕組みをつくりたいと思っています。できる範囲で、協力してもらえる方、募集させていただきます。

車の寄付募集（活用が難しい車も募集しています）

当協会の全ての事業を支える車の寄付を募集しております。私たちにとって車は、「笑顔の源」。めいっぱい活用させていただきます。また、全国の自動車リサイクル企業と提携して活用できない車のリサイクルを通して活動財源とさせていただき取り組みも行っています。家や会社に眠っている車があればぜひご協力ください。



自動車リサイクル企業との協定締結の様子

車の寄付申し込みはこちらから



活用できる車の条件

いただいたお車を3つの活動でユーザーの方々に安心・安全に使用いただくために条件を設けております。

条件

- ・車検が6ヶ月以上残っている車両
- ・車齢が15年以下及び走行距離が15万km以下の車両
- ・安全かつ快適に走行ができる車両
- ・寄付後の車の使途や廃車のタイミングを協会に一任いただけること

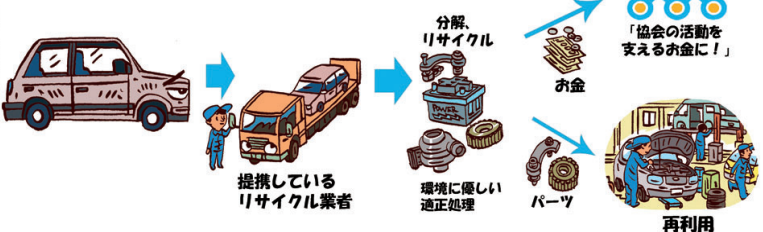
※条件は状況に応じて変更します。最新の条件はWEBで確認いただけます。

※協会の保有台数状況に応じて、“廃車リサイクル”のご案内をさせていただく場合がありますのでご了承ください。

条件に当てはまらない車でも大丈夫！ “廃車リサイクルde応援”

活用条件に当てはまらない、車検が切れている、エンジンなどの故障があるといった車でも活動に活かすことができます。車のある場所まで中古自動車のリサイクルを行っている事業者さんが引取に行きます。引き取った後の車はリサイクル処理をすすめ、中古部品や素材として再資源化されます。リサイクル処理の過程で算定された車の価値が寄付金として協会に事業者さんを介して寄付されます。いただいた寄付は車の維持費など協会の活動に活用します。

活用が難しい車



架け橋ドライバー募集

（自分の都合のつく範囲で協力したい方）

車の寄付者さんの元から協会の活動拠点、災害時には活動拠点から支援現場などに車を運転して運んでもらうボランティアさんです。随時、運んでもらいたい案件があればfacebook グループ内で発信していますのでぜひご参加ください。



参加はこちらから



プロボノ募集

（専門的な技能を社会貢献に活かしたい方）

写真・デザイン・映像・編集・マーケティング・システム・法律・登録・整備・労務・法務・漫画・コーチング等ご自身の専門分野をこの活動に活かして無料もしくは特別料金で協力いただける方を募集しています。

有給スタッフ募集

（この活動に従事したい方）

ホームページで求人情報を紹介しております。（募集をしていない時期もあります）ご関心のある方は気軽にお問い合わせください。

ご寄付をお願いいたします

クレジットカードや振込にてご寄付を受け付けております。払込用紙をご希望の方はお気軽にご連絡ください。

ゆうちょ銀行から

口座記号：02220-9 口座番号：120559

他の金融機関から

ゆうちょ銀行 二二九（ニニキュウ）支店

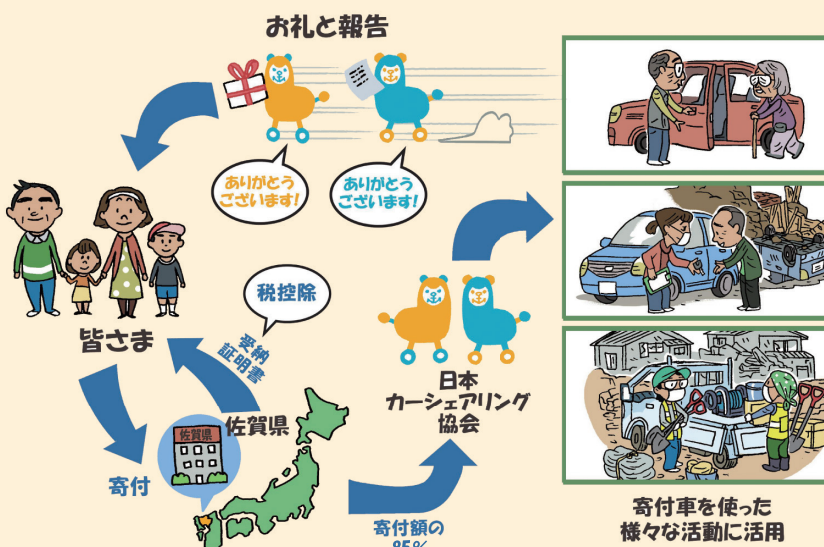
当座 口座番号：0120559

口座名義：一般社団法人日本カーシェアリング協会

クレジット決済でのご寄付を希望の方はこちらからお願いいたします。
（VISA、Mastercardのみ）



ふるさと納税で支援



HPから返礼品の紹介とお申込みができます。▶



災害サポートレンタカー・パートナー

協会の災害支援活動をお金の寄付で応援いただく企業様を募集しています。災害対応の期間、企業ロゴを掲示した車両が被災地で活躍します。

▶ 一口 100,000 円から



※ステッカーのイメージです

マンスリー・カーシェア・サポーター

定額の寄付で継続的に協会の取り組みを応援できます。お支払いはクレジット決済、口座振替が選べます。

▶ 個人 月額 1,000 円から

※年一括払いも可能です。

※口座振替をご希望の方はお問合せください。



“明日の災害に備える仕組みにご支援を”

災害に備える仕組みづくりに特化したマンスリーサポーターを募集しています。READY FORのサイトからの継続寄付の仕組みになります。

▶ 月額 1,000 円から



私たちの存在理由は、活動を通して社会に影響を与え変化をもたらすことである、とも言えます。その一つの指標として受賞歴や報道機関への掲載等をご紹介します。特に受賞に関しては、日頃活動を支えていただいている皆様と共に得たものであり、そのことにあらためて御礼申し上げます。

受賞歴

- 2015年4月 国際交通安全学会賞 業績部門
- 2017年6月 地域 ITS 活動優秀事例
- 2018年2月 復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰
- 2019年2月 第9回地域再生大賞 優秀賞
- 2020年2月 第6回「エルトゥール号の恩返し 日本復興の光大賞 20」特別賞
- 2022年2月 第1回「クルマ・社会・パートナーシップ大賞 自動車ユーザー連携賞」
- 2022年3月 第15回いしのまき大賞



行政との協定・アドバイザー実績

- 2016年4月 石巻市とUR都市再生機構と三者で「エコEVカーシェアリングの推進に関する協定書」締結
- 2018年8月 石巻市と「災害時の相互応援に関する協定」締結
- 2019年1月 岡山県・日本自動車販売協会連合会岡山支部・岡山県軽自動車協会ら4者で「災害時における被災者等の移動手段の確保に関する協定」締結
- 2019年7月 大津市と「コミュニティ・カーシェアリングの普及促進に関する連携協定」締結
- 2020年4月 代表理事の吉澤が「総務省 地域力創造アドバイザー」、「内閣府 地域活性化伝道師」に就任
- 2020年5月 佐賀県と佐賀未来創造基金と三者で「進出協定」締結
- 2021年2月 熊本県・日本自動車販売協会連合会熊本県支部・熊本県軽自動車協会・JU熊本と「災害時における被災者等の移動手段の確保に関する協定」締結
- 2021年7月 石巻市と「包括連携協定」締結
- 2022年6月 宮城県と「災害時における被災者等の移動手段の確保に関する協定」締結
※以後同様の協定を岩手県・栃木市・福島県・人吉市・延岡市・栃木県・新潟県・青森県・富山県・福岡県と締結
- 2023年5月 豊田市と「車の共同利用による地域づくりの支援に関する連携協定」締結



講演・視察

主な講演会登壇実績

- 2018年12月 とうほく NPO フォーラム in 気仙沼 2018 (主催: NPO サポートリンク・フォーラム in 気仙沼 2018 実行委員会)
- 2019年7月 第34回シンポジウム「これから30年の未来をえがく」(主催: 研究・イノベーション学会)
- 2019年11月 SHARE SUMMIT 2019 (主催: 一般社団法人シェアリングエコノミー協会)
- 2020年2月 令和元年度「小さな拠点」づくり スロック別会議「小さな拠点」×地域交通 (主催: まち・ひと・しごと創生本部) 他



講演・視察一覧▲

2022年1月～12月の実績 講演会(講師): 16件 視察: 10件

メディア掲載

主なメディア掲載実績

- 2011年7月24日 神戸新聞 仮設住民らに共有の車提供
- 2015年8月24日 読売新聞 顔「カーシェアリングで被災地を支援する」
- 2016年3月5日 朝日新聞 ひと「被災地発の住民運営型カーシェアリング普及を目指す」
- 2016年6月 ソトコト ソトボラ新聞
- 2019年7月 自動車技術 2019 vol.73
- 2020年2月 運輸と経済 第80巻 第2号 他

2022年1月～12月の実績 新聞掲載: 80件 テレビ・ラジオ: 21件 その他: 7件



高校の家庭科の教科書に紹介された内容はこちら



石巻の亀山市長が当協会との連携について3ページわたり寄稿していただいた原稿はこちら(P31～)

協力

皆さまとともにこの活動を推進していきます。 ※順不同 ※2024年3月末時点

賛助会員



協定締結自治体



モビリティ・レジリエンス・アライアンス協定締結企業・団体



コミュニティ・カーシェアリング スポンサー企業



自動車リサイクル寄付提携企業

株式会社アイエス総合 / 株式会社ナフロアース / カーレボ株式会社 / スズキ中国販売株式会社
有限会社オートリサイクルナカシマ福岡 / 株式会社久保田オートパーツ / 株式会社ピー・エス・アイ・コーポレーション

各種協力企業・団体 ※法人の種類略



アイシン / IDOM / イミカ / エステー / ETIC / NTTデータ東北 / 岡山日産自動車 / ガーデュ / 行政書士会(秋田福島静岡愛知石川福岡)
公益法人協会 / 三共油化 / 庄司慈明税理士事務所 / 商船三井 / 商船三井フェリー / 信金中央金庫 / SHIN-JIGEN / 真如苑
シン・ファンドレイジングパートナーズ / 住友ゴム工業 / ゼロ / ソフトバンクつながる募金 / 太平洋フェリー / 大和証券グループ
武田薬品工業 / 中央共同募金会 / 全国軽自動車協会連合会 / 東京学芸大学 正木賢一研究室 / 東北大学 / トビー実業
Yahoo! JAPAN / ネット基金 / 西村あさひ法律事務所 / 日産サティオ岡山 / 日本 NPO センター / 日本自動車工業会
日本自動車販売協会連合会 / 日本自動車リース協会連合会 / 日本総合研究所 / 日本たばこ産業 / 日本中古自動車販売協会連合会
日本フィナンソロピー協会 / ハンコックタイヤジャパン / FUMIO OBATA / マツダ / 三菱自動車工業 / 三菱商事復興支援財団
三菱電機 / 宮城県共同募金会 / みやぎ連携復興センター / UR都市機構 / 宮本 悠合 / 山食堂 / REC IT UP

他にもたくさんの方々にご協力いただいております、その一部をホームページにも掲載しております。